

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学短期留学
-----	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 36,000 円	
図書費・学用品費	約 250 円	大学でファイルを購入した。
携帯・インターネット費	約 12,000 円	eSIM(カナダ+アメリカ)
現地通学費	0 円	(研修先まで バスで50 分)
教養娯楽費	約 52,000 円	バンクーバー旅行(お土産代、交通費含む)、ホッケー観戦、体育館利用
被服費	約 8,000 円	Uvic フーディー
雑費	約 8,000 円	ビクトリアで買ったお土産
その他	約 53,000 円	例: 個人的に行ったシアトル旅行(宿泊費、交通費、食費、ESTA 申請代、お土産代)
合計	約 160,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 成田空港で 4 万円両替したが、カードで事足りるため、もっと少なくて良い。また、空港だと手数料がかかるため、時間があれば新宿などの両替所を回ってみるとよいかもしれない。

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカード

チップが選択制になるので、わざわざ計算しなくてよくて楽だった。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

学校で紹介された TELUS の eSIM を利用した。30 日間 20GB を購入したが、ホームステイ先や大学内は Wi-Fi が利用でき、7GB ほどしか使用しなかったため、10GB のプランで充分である。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

スリッパ(海外とはいえ、室内では靴を脱ぐ家庭が多かった。)、洗濯ネット、ハンガー(数本用意してくれていたが、洗濯機を週1しか使えなかったのも自分でハンガーを用意して良かったと思った。)、折り畳み傘とフード付きの上着(雨の日が多い)、エコバッグ、ホストファミリーへのお土産(箸が一番喜んでくれた。)、水筒(学校や空港、フェリー乗り場などで水が汲めるため 1 本あると便利。)、セミフォーマルな服(最終日のフェアウェルイベント用の服。男性はスーツ、女性はワンピースが多かった印象。)、ルーズリーフ(課題提出の際、ノートよりもルーズリーフのほうが便利。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

日本でもビクトリアでも大学の先生が危険な地域を教えてくださいました。なるべく2人以上で行動するようにした。特に犯罪に巻き込まれることはなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

問題なく使えた。大学内、ホームステイ先は Wi-Fi が利用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)				
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
基本朝食と昼食は食材を用意してもらって自炊だった。フルーツやスナックを好きに食べていいと言われていたが、私の場合ほぼ毎日朝、昼とサンドウィッチだったため、日本からみそ汁などを数個持参するとよいかもしれない。また、カナダのインスタントラーメンは味が合わなかったため、ラーメンを食べたい人は日本から持っていくことを勧める。 私の家庭にはホストマザーと息子、犬がいた。マザーは仕事が忙しかったり、息子は学校や習い事が忙しかったりで他の家庭よりはコミュニケーションをとる機会が少なかったが、ハウスルールが緩かったり美味しい夕飯を作ってくれたりして、快適に 1 か月間を過ごすことができた。おすすめの観光スポットやお土産を聞くと一緒に調べてくれた。友人の中には食事が合わずお腹の調子が良くない日が続いている人が何人かいたが、私のホストマザーは料理が得意で、たまに焼きそばや魚、お米、手作りのケーキなどを出してくれて、体調を崩すことはなかった。 ホストファミリーの性格、家の大きさ、食事、ハウスルールなど、すべて家庭によって異なるため、他の人と比べずに与えてもらった環境で快適に過ごせるように自分なりに工夫して生活することが大切であると感じた。				

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
月曜日から木曜日まで 1 日 5 時間の授業であった。日本とは異なりプレゼンやディスカッションなどスピーキング力向上のための授業だったため、スピーキングが苦手な私にはとてもためになった。グループワークが多かったため、人見知りの性格の自分でもすぐにクラスメイトと仲良くなれた。クラスの大半が日本人であったが、私のクラスでは教室内にいる限り休み時間であっても英語で話さなければならないというルールがあり、日本人の友達と英語で日常会話をするという新しい経験ができて良かった。また、1 クラスの人数も多くないため先生との距離が近く、気軽に質問できる環境であった。
2)課外プログラムについて
ホッケー観戦やバンクーバー旅行などは少し高かったが、カナダの有名なスポーツを生で観戦できたり、ビクトリアとはまた少し異なる文化、景色を感じたりすることが出来て、とても良い経験になったと思う。
3)現地での生活に関すること
私の滞在先は学校からバスで約50分と他の学生に比べると遠いところにあり、最寄りのバス停から出るバスの本数も少なかったため、毎朝授業開始の 40 分前には学校に着いていた。はじめは少し不便に感じていたが、中心街から離れている分自然が豊かで星が綺麗に見えたり、バスの中から海を楽しめたりした。また、朝が早いので規則正しい生活を送ることができ、学校に着いてからの 40 分間で課題を終わらせるなど、時間を有効活用できた。 ビクトリアは曇り、雨の日が大半であったが、晴れている日にはビーチ、公園などを楽しむことができた。自然豊かである一方、ダウンタウンに行けばショッピングや夜間の州議事堂のライトアップなども楽しむことができ、とても魅力的な街であった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
放課後に様々なアクティビティが開催されていたため、それに参加して現地の学生と英語で話しながらカードゲームなどを楽しんだ。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
毎日お昼休みにラーニングセンターという場所で昼食をとり、日本人の友達と英語のみで会話したり、自分より年下から年配の方まで年代の様々なボランティアの方と交流した。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
私が一番印象に残っていることは、バスを下車するときにほぼ全員が“Thank you.”と言って降りていくことである。日本ではなかなか見かけない光景であるが、とても良い文化であると感じた。 また、ビクトリアの人は親切な方が多いと感じた。道案内をしてくれたり、どのバスに乗ればよいかを教えてくれたり、何度も優しい人柄に助けられた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私はカナダに留学して、もともとの人見知りで内気な性格がだいぶ克服されたと感じている。それは、留学先で出来た友達と、「言わないと何もしてもらえない」という環境のおかげだと思う。留学前は自分から話しかけるのが苦手でも同じ人とばかり一緒にいてしまうような自分であったが、英語力向上のためにはやはり現地の学生とのコミュニケーションが大切であると思い、自分から話しかけることを目標に留学した。日本人留学生が多いためどうしても日本人の友達が増えたが、それでも今まで周りにはいなかったような、殻を破ってくれる友達ができ、自分を変える良いきっかけになった。またクラスでは、偶然ではあるが、日本人よりも 2 人の韓国人と仲良くなり、絶対に英語を話さなければコミュニケーションを取れないという環境は私の英語力を大きく向上させてくれたと思う。伝えたいことを上手く英語にできず、自信をなくしてしまいそうになったことも何度もあったが、韓国人の子とお互いのホームタウンを訪れるという約束をしたため、もっとコミュニケーションを取りやすくするために英語の勉強を頑張ろうという目標ができた。

普段の授業だけでなく放課後のアクティビティでも英語でのコミュニケーションに重きを置いているビクトリア大学は留学先としてとてもおすすめである。ビクトリアに限らず留学先での 1 か月は思っている何倍ものスピードで過ぎていくので、迷っている方はぜひ行ってみるべきだと思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	13,000 円	友達との外食や、カフェなど
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	14,000 円	ESIM のみ
現地通学費	0 円	(研修先まで バスで 15 分)
教養娯楽費	37,000 円	ビクトリア内の娯楽、バンクーバーツアー、アイスホッケーなど
被服費	8,000 円	ビクトリア大学内で発売されているフード付きトレーナーを購入
雑費	14,000 円	お土産
その他	2000 円	例: ホストファミリーへの日本のお土産
合計	約 86,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本の空港で日本円をカナダドルに換金しました。

その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

1 番頻繁に使ったのはクレジットカードです。お店によってはカードのみ対応の所もありました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

eSIM を登録しました。eSIM にすることで、持ち物が増えず便利でした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

ホストファミリーの家は日本に比べて寒かったです。なので寝るときになかなか足が温まらず寝れない時もあったので暖かい靴下などの防寒着を持ってきて良かったなと思いました。昼食を持って行く際に普段使っている銀のスプーンをそのまま渡されたので日本から 100 均のプラスチック製のフォーク、スプーンを持っていけば良かったなと思いました。不透明なゴミ袋を持って行って良かったなと思いました。あまり見られたくないものを入れたりゴミ袋にできて万全でした。髪の毛の長い人はコロコロを持って行くこともおすすめします。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地の危険地域情報はホストファミリーに教えてもらいました。防犯として少なくとも夜は 3 人以上で行動するようにしていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

問題なく使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐バス ☐トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

初めはホストファミリーとなかなか上手コミュニケーションが取れないことが当たり前です。それでもオープンマインドで積極性を忘れずに話したい意思を強く持って話しかければホストファミリーと最高の関係を築くことができました。聞き取れなくてもう一度言って欲しい時も遠慮なく聞き返したり、ホストファミリーの話をディクテーションして正確に聞き取れているか確認しあったりすることで会話を正確に理解し、英語の力の向上に繋がったなと思いました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

スピーキングが中心の授業だったので能動的に授業に参加することができました。
昼休みには learning center で現地のボランティアと会話できる施設があったのでよく利用していました。
良くなかったことはプレゼンの準備時間が少し少なかったことです。

2)課外プログラムについて

バンクーバーツアーは思ったよりも長い時間自由時間が設けられていたのでバンクーバーの中でやりたいことはほとんどやりきれたのではないかと思います。

3)現地での生活に関すること

ビクトリアはバンクーバーに比べると断然安全な地域だと思いました。バンクーバーのダウンタウンの方がマリファナの匂いがきつかったです。逆にビクトリアはマリファナを感じる人と感じない人がいるぐらいでした。
街中にゴミ箱が設置してあるのが便利だと思いました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

プログラムが行われている棟は現地学生が普段使う建物とは少し隔離された場所にあったので現地学生との交流は少なかったです。大学内のイベントで無料でお昼を配られるイベントがあったのでそれに参加してみました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

バスの中で日本が好きな現地学生とお話する機会がありました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

街中で知らない人に服を褒められたり、お店のレジの人と客が日常会話をしたり、バスの乗り降りで必ず挨拶するなどフレンドリーな文化だなと感じました。
ダウンタウンの中にお気に入りのキャンディーショップがあってその店員さんとお話して仲良くなり、たくさん試食をもらえたら事がいい思い出です。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この留学で私にとって大切な存在だったのはホストファミリーとクラスメイトです。
ホストファミリーとは初めは全然何を言ってるのか聞き取れなくてもなんとなく yes と言ってしまったりしていたけれど、だんだん聞き返したり、自分の意見を出すように努力してから真剣な会話から面白いジョークやおしゃべりまでなんでも話せるほどになりました。そこから毎日 2~3 時間以上ホストファミリーと会話することが習慣となり、本当の家族になれたように思いました。行きたいところに連れていってくれたり、外食に連れて行ってくれたり素敵な時間を一緒に過ごせて嬉しかったです。
クラスメイトは様々な大学から集まってきたので一人一人考え方や価値観が違って新鮮でした。
私はこの留学プログラムで仲良くなった人とビクトリア内を観光したり、バンクーバーツアーをめぐったり、週末に旅行しに行くことができました。これらの観光したことも私にとって貴重で楽しかった思い出です。
留学に行く目的として語学向上を第一にすることも大切ですが、私はそれだけでなく楽しむことも留学に対して不可欠なことであると思っています。ビクトリアに来ているのだから存分にビクトリアを感じ、近くのバンクーバーにも観光し、かつ、ホストファミリーともたくさんお話をして英語力も上がると同時にホストファミリーのバックグラウンドや考え方など異文化にも触れることができ、私にとって最高の留学となりました。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	2024年度春季海外語学研修／ビクトリア大学(カナダ)
-----	-----------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,843 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	24,000 円	au 海外放題
現地通学費	0 円	(研修先まで 20分)UMO カードでバスが無料で乗れた
教養娯楽費	23,117 円	バンクーバー旅行や城、ホッケー
被服費	25,286 円	キャップや大学とルーツがコラボしたフーディ
雑費	円	
その他	円	例:
合計	123,246 円	通信費以外は現地で使った費用。圧縮袋やシャンプー、ドライヤーなど日本で行く前に買いそろえた際にも、そこそこお金がかかった。

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 横浜駅近くの両替所で両替した。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
SonyBank Wallet(デビットカード)を使用した。手数料が比較的良かったのと不自由なく使えてよかった。 なぜかホテル近くにあるセブンだけ機能しなかった。そういうときにカードを二枚持っているとう安心。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Au の海外放題をしようした。日本であらかじめ設定しておけば、現地に着いたら自動で切り替わるため、eSIM とかすべての中で一番楽だったと思う。通信もサクサクつながり、ギガも無制限なので、少々高額だがその価値はあると思う。eSIM は通信が遅いと言っている人がいた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
飛行機の中で使う使い捨てスリッパや着圧パンツ、首枕。足がひどくむくむ。箱ティッシュ、エコバック。カイロやマフラーはあまり使わなかった。衣服を吊り下げ収納ができるものをもっていった。圧縮もできるし、現地でも役に立った。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
ホテルに向かう途中、バスガイドさんが教えてくれたのとネットで調べたりホストファミリーに聞いたりした。パスポートや財布などは肩掛けの小さなポーチに入れて常に身につけていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Au の海外放題は通信がよく、ギガの制限もなく何不自由なく過ごせた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

とても優しいいいホストファミリーに恵まれ、きれいで広い部屋で快適に過ごせた。朝昼は自炊する契約だったが、私のホストファミリーは用意してくれた。ただ、友達の中には、あまりきれいな部屋でなかったり、出される食事の量が少なかったりしたという子もいた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

空港やホテルなどそれぞれのところにガイドさんがいて、手厚くサポートしてくれたため、無事にホストファミリーの家までつくことができた。他の学校から来た留学生の中には、最終日の翌日の朝5時に帰国する子もいたが、明治大学のプログラムでは、一晩ホテルに泊まってから出発なので余裕があつてよかった。

2)課外プログラムについて

バンクーバー旅行に参加した。とても充実した2泊3日であった。

3)現地での生活に関すること

自然豊かで様々な動植物があり、散歩するだけでも楽しかった。人々も親切な人が多い。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

バス停で並んでいるときに現地学生と話したり、カフェテリアで少し会話をしたりしたが、授業はほとんどが日本人で外国人の友達を作るのは結構難しい。韓国の留学生などはいる。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

友達で現地のサークルやクラブみたいなものに参加している人がいた。それは友達を作りやすくていいなと思った。私はホストファミリーがアクティブな方たちだったので、ハイキングやサイクリングで出かけた先で知り合いの人と話したり、娘家族や孫を家に招待したときに話した。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

近くにビーチや山、野生のクジャクがいる公園など様々な美しい自然や景色を堪能できる場所がたくさんあった。展望台に上ったり、海岸を歩いたり、ホストファミリーとハイキングやサイクリングをすると複数の国を旅している気分になってとても楽しかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

留学に行く前にこの留学で自分はどうなりたいのか目標を立てることが重要だと思う。私は、もともと極度の人見知りで、自分の英語力に自信もなく、留学をするなんて到底考えられなかった。しかし、そんな自分を変えたくて、この留学することを決心した。そのため私の留学の目標は、初対面の人ともすぐに仲良くなれるような社交的な人間になること、自分や自分の英語力に自信を持つこと、異国で異なる言語でも生きて行けるくらいつよいメンタル持つこと、そしてビクトリアを思いっきり楽しむことだった。ビクトリア大学では、多くの新しい友達を作ることができ、日本に帰ってからでも会おうと約束した大切な友人も何人かできた。学校や家で常に英語をはなし、新しい言葉のインプットとアウトプットを同時にしたこと自分の語彙力が日に日に増えている実感があり、それが自信となった。レジャレストランでの会話も初日は全く聞き取れず気まずい空気を作っていたが、失敗と成功を繰り返して、最後の方はスムーズに楽しい会話を交わすことができるようになっていた。一つ一つの成長が私の英語力の自信となりメンタルも強くなった。また、勉強だけでなくちゃんと遊びも全力で楽しんだため、とても充実した一か月にできたと思う。今後も英語に触れる機会を継続して作ろうと思う。アドバイスとしては、何を成し遂げたいかを明確にし、それに向かって全力で楽しむことである。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学語学研修
-----	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	4000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	15000 円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
合計	64000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカード

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
イエローモバイルの eSIM の 20 ギガ分購入した。1 カ月 15 ギガほど使ったのでちょうどよかった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
延長コードと、水筒は日本から持ってきていて助かった。
雨が多い気候だったので、折り畳み傘は2つくらい持ってきてても損はないです。実際私は、傘をなくしてしまってホストファミリーにお借りしたので、自分の持っていた方が安心です。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに危険な場所を聞いて、夜道は1人で歩かないようにした。
出かける時は、クレジットカードは一枚家に置いておいたり、パスポートも普段は家に置いておきコピーだけ持ち歩くようにした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホストファミリーのお家では、自由に Wi-Fi が使えた。家の外では、モバイル通信をしていたが、イエローモバイルの eSIM は問題なく使えたのでおすすめです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

バスとトイレは、ルームメイトと私含めて3人で共有して使っていた。キッチンには自由に使わせてもらった。朝ごはんやランチは自分たちで作った。最終日前日は、ルームメイトとホストファミリーに向けてマフィンを作ってプレゼントした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は月曜日から木曜日、時間は朝9時から15時までで、放課後や週末は自分の時間を作ることができたのはとてもよかった。クラスは、初日に行われたスピーキングテストとライティングテストに基づいて決められたので、自分のレベルにあった授業を受けることができたのはとてもよかった点だと思う。English Onlyが授業ルールだったので、英語を使えるとてもいい環境でした。

2)課外プログラムについて

私は、課外プログラムの一環であったバンクーバー旅行に参加した。ビクトリアの街を超えて、バンクーバーの観光地に行ったり、フェリーに乗ったりと充実した旅行になった。また、授業の後に行われた conversation club はとても良い経験になった。現地の学生さんや、ボランティアの方と一緒にゲームをしたり、発音矯正をしてくれたり、日本では経験できない濃い時間を過ごすことができた。

3)現地での生活に関すること

ビクトリアは、日本の気候と似ているので特に気をつけることはないと思うが、雨が多い気候であることと、市バスで街を移動するので、バスが気候に左右されやすいことは注意点としてあげたい。また、周知の通り、大麻が合法な国であるので、ダウントウン周辺ではいろんなことに気を配って行動するべきである。夜道は危ないので1人で歩かない方がよい。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業中に、教育学生が来てくれることがあったので、お話する機会がありました。また、課外プログラムにも書いたように、私は積極的にクラブ活動に参加していたので、現地の方と交流できていたと思います。ただ、生徒のほとんどが日本人か韓国人だったので、自分からクラブ活動などに積極的に参加しないと、交流できる機会は少ないかもしれません。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

私は、English learning center という現地の方や学生とお話ができる施設に毎日通っていた。昼食時や放課後に訪れると現地の方とお話ができ、英語を使ういい機会であるだけでなく、カナダの文化もたくさん教えてくださるので、いろいろなことを吸収できた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

カナダの方は、バスを降りる時に運転手さんに「thank you」と大きな声で挨拶をします。どんな人とも挨拶を大切にす文化はとても素敵だと思いました。また、ホストファミリーの方々は本当に親切な方ばかりでした。私には、ルームメイトが2人いましたが、最終日ルームメイトの方が飛行機の出発が早く、空港までお見送りをしました。1カ月を共にした2人と離れるのが悲しく、涙が止まらなくなっているところを、空港で仲良くなったカナダ人のお母様が私を抱きしめてくださいました。もちろん私のホストファミリーも同じように。カナダのハグの文化や、見知らぬ人とも挨拶をあ交わし、気持ちを共有できる文化にとても感銘を受けました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は、このプログラムに参加することができて本当によかったと思っている。短期でも、間違いなく自分の生きる糧になったし、自分の成長につながったと思う。ホームステイすることがずっと夢だった私にとってこの経験はかけがえのないものだし、素敵なホストファミリーに出会えてとても濃い1カ月間をすごせた。この1カ月間で得たことは、「間違えることを恐れないこと」。これは簡単のように見えて、私にとってとても難しいものでした。日本にいる間は、英語で話す時、間違えを作らないことに必死でした。しかし間違えを犯さないと自分が何を間違えて何を理解できていないのかわからないし、自分で限界を決めて伸び代がありませんでした。ですが、この留学を通して、間違えることの大切さに気づきました。ホストの家にいる時は、会話できるようにリビングで宿題をするように意識し、わからない問題は質問したりしました。私が特に意識したことは、間違えてもいいからとりあえず話してみる。そしてその後自分が話した英文があつてあるか調べる。この方法が1番私にはあっていました。今では調べた単語のスクリーンショットでスマホがいっぱいです。

ルームメイト含め私たちは、みんな日本人でした。ですがホストの家にいる時はなるべく英語で話すように心がけていました。初めは、慣れない環境でしかも全て英語で話すことに戸惑いもありましたが、この取り組みはとても良いものだと思います。後半では自然と3人での時も英語で話すようになりました。わからない単語や英文がある時は、お互いに教え合い、そしてホストファミリーも助けてくれました。ルームメイトが日本人だったら英語が伸びないのではないかなと思う人もいるかも知れません。でも全ては自分の取り組み次第だと思います。

実際、1カ月で英語をペラペラに話せるようにはなれません。でも1カ月をどう過ごすかが、1番大切だと思います。英語に苦手意識があった私にとって、英語でこんなに素敵な経験ができたという事実が私の今のモチベーションになっています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学 2024年春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35000 円	外食やお菓子など
図書費・学用品費	2500 円	洋書とバインダー
携帯・インターネット費	13000 円	Holafly の eSIM
現地通学費	円	(研修先までバスで5分、徒歩で 25 分)
教養娯楽費	35000 円	有料プログラムや個人で行ったバンクーバー旅行の際にかかった費用
被服費	18000 円	大学のグッズのパーカーやショッピングモールで買った服など
雑費	円	
その他	25000 円	例: 家族や友達へのお菓子やキーホルダーなどのお土産
合計	128500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円で 2 万円を日本で外貨両替をした。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどクレジットカードを使っていました。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を日本で買った。ほとんどの設定は日本ででき、現地に着いたらすぐにアクティベートができて便利だった。1 か月間インターネットの使用に困ることもなく、快適に過ごせた。私が買った eSIM は Holafly のデータ無制限のプランだったが、学校でもホストファミリーの家でも Wi-Fi が使えるため、データ無制限のプランは必要なかったと感じた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
常備薬(バスで酔ってしまうので酔い止めを持っていったよかった、またお腹を壊してしまったときに胃薬を持っていたのでよかった) 歯ブラシ(カナダで売っている歯ブラシが、日本に比べてだいぶ大きく、磨きずらそうだったから。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: バスの UMO カードをなくした。研修先の相談窓口で相談し、新しいカードを発行してもらうことができた。) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
たびレジ(外務省海外旅行登録)に登録し、安全情報を受け取れるようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校やホストファミリーの家では Wi-Fi があったので、それを使わせてもらい、私が買った eSIM も現地で問題なく使えたので、接続に困ることはなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	

私のほかにもルームメイトが 1 人いた。ホストファミリーの方にはとてもよくしていただき、恵まれているなと思った。シャワーの時間も 10 分前後と一般的で厳しくなく、洗濯のタイミングも自分で決めることができた。食事どれも素晴らしく日本食が恋しくなることはなかった。ただ割り当てられたホストファミリーと自分が合うかは会ってみないとわからないので、もし何か思うことがあったらしっかり伝えるのが大事だと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

午前 150 分、午後 150 分の授業でそれぞれ違う先生だった。どちらの先生もとてもやさしく、丁寧でわからないところがあればすぐに教えてくれた。文法や単語についても学んだが、授業中ほとんどの時間は、英語で会話をしていた。教室の中にいる限り、母国語を使わず英語で会話をするのがルールなのが良かったと感じた。一つのテーマについて話し合ったり、ゲームをしながら出てきたお題について話したり、とにかく楽しく会話できたのがうれしかった。プレゼンテーションもあり、私のクラスでは 4 回行った。私のクラスではなかったが、友達のクラスではパワーポイントを使ったプレゼンがあった。

2) 課外プログラムについて

わたしは有料プログラムのホッケーの試合観戦とハイティ、ブッチャートガーデンのプログラムに申し込んだ。ホッケーの試合はテレビでも見たことがなかったので、本当に初めての観戦だったが、とても楽しかった。また無料で参加できるアクティビティにも参加した。中でもミュージックビンゴがとても楽しかった。聞いたことのない曲をたくさん知れて、お気に入りの曲も見つけることができてうれしかった。クッキーやコーヒーなども自由に取りに行くことができた。

3) 現地での生活に関すること

とにかく快適に楽しく過ごせた 1 か月だった。とても優しい人が多く、バスの運転手さんや店員さん、町で歩いている人などとてもフレンドリーだと感じた。動物がたくさんいて毎日癒されていた。鹿やリスがいるのをたくさん見た。また水辺に何百匹ものカモがいたのも少し驚いたがかわいかった。1 日の天気の変化が激しかった。朝黒い雲がたくさんあり、ずっと雨が降っていると思いきや、夕方には太陽が顔を出して気温が上がったり、またその逆もあったりで面白かった。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

ランチの際、The Learning Centre というところに行くと、現地のスタッフの方や学生と話ができるのでそこに行った。ランチを食べながら気軽に雑談をしながらも、間違った英語の使い方をしていたら指摘してくれたりと学ぶことも多かったし楽しかった。

2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム外では特になし。

バス停で待っている時に、日本人ですかと学生に話しかけられて、少し話すことができた。とても良いひとでフレンドリーだなと感じた。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスを降りる際に必ず全員ありがとうと運転手さんに言うことが印象に残ったしとても良い文化だと感じた。

町を歩いていると鹿が歩いたり、リスを頻繁に見かけることが驚きだった。人間を見ても逃げずに、座ってくつろいでいたり、草を食べているのを見ると、人間がいても動物がリラックスして過ごせる環境なんだなと感じた。

ホームレスの人の数が日本よりも多いと感じた。ダウントウンのある特定の場所をバスで通るとき、たくさんのホームレスの人がいて少し驚いた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

一度はカナダに行きたいという気持ちからこの研修を選んだ。ビクトリアはきれいで落ち着いた町で、この研修が初めての海外での生活となる中で、嫌な思いをすることなく最高の経験ができた。何よりも現地の人が、優しくフレンドリーで温かい気持ちになれた。ただ現地の学生と関わる機会は、自分から積極的に現地学生のいる環境に飛び込み、話しかけない限りはめったにないので、思い切って話しかけに行くことが大切だと感じた。やはり日本人留学生が大多数を占めるので、日本人同士で固まってしまうので、なるべく日本人同士でも英語で話すように意識はしていたが、やはり日本語をかなり使ってしまったのでそこが後悔しているところだ。

日本からのお土産として、日本のお菓子を持っていったら、ホストファミリーが喜んでくれたのでおすすめです。フェアウェルパーティでは意外とパーカーとジーンズなどのカジュアルな服装の人もちらほらいたが、女の子はすこしきれいなワンピースが多いと感じた。ただあまり考えすぎなくて良いと思う。

また有料プログラムではなく個人で計画して行ったバンクーバーも良い経験になった。ホテルやフェリーの予約やバスの乗り継ぎなどを、ホストマザーに相談しながらも、計画し、何の支障もなく、行くことができたのはうれしかった。また同じ州だが、ビクトリアとバンクーバーでは町の雰囲気や全く違い、それを感じられたのも良い経験になった。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学 2024年春季
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約63291 円	スーパー等で買ったお土産用お菓子含め。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	約20000 円	au 海外放題使用。
現地通学費	0 円	(研修先まで 50 分) カードでバス乗り放題
教養娯楽費	41624 円	アディショナルアクティビティでバンクーバー旅行とブッチャートガーデンに参加
被服費	0 円	Uvic のアイテムを購入した。
雑費	28371 円	人にあげるもの系。
その他	43095 円	例: 自分のために使ったお金(出国時預け入れ荷物超過料金10500円含む)
合計	約131112 円	メモし忘れたり、留学用に用意したスーツケース(レンタル)、コート、海外対応のドライヤー、ヘアアイロン、コテ、延長コード、ホストファミリーへのお土産などもあるのかかった費用はもう少し高いかもしれません。

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

● 現金の用意方法: 外貨両替所 現金での支払いはコインが細かくて面倒なのでお勧めしませんが、カード、特に「ソニーバンクウォレット」を強くお勧めします。即時引き落としタイプのデビットカードで、海外で使う度の手数料が発生せず年会費も無料です。使ってからすぐにメールでいくら引き落とされたかの連絡が来るのもとても良いです。ホテルでのチップを置くくらいしか現金ではないといけなことがなかったので、余裕を持って日本円5000円分をカナダドルに替えるだけで十分であったと個人的に感じました。

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

カード

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

au 海外放題 高いけれど日本と同じようにサクサク使えるので、au か UQ mobile を使っている人にはおすすめ。手続きも簡単。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

マスキングテープ 洗濯ネット多めに(一度に大量に洗うため) ラップ 折り畳み傘 フェアウェルパーティー用のドレス パンプス お出かけ用の小さめバッグ ネックピロウ(飛行機で寝るとき用) 花粉のお薬 目薬 いろいろなサイズのビニール袋やジップロック多め スーツケースの重さを量る器具(超過料金発生しないように!) ハンガー 洗濯ばさみ 洗濯紐 日本の食糧少し 湯たんぽ

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

毎日エデュケーション(留学の手配会社)の方の指示通りに収集しました。Youtube やInstagram
小さい斜め掛けバッグにお財布を紐づけ
巻き込まれたこと無し

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

大学の Wi-Fi、ホームステイ先の Wi-Fi、外での au 海外放題の回線で繋がりが遅くなったりしたことは一度もなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
ホームステイ先によって食事、会話量、どれだけ外に連れ出してくれるか、夕飯の時間帯等々大きく異なります。事前にどういってお家がいいのか聞かれるアンケートにしっかり記入しておくことを勧めます。私が滞在させてもらったお家には、同い年の日本人留学生2人も一緒にいました。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
ナチュラルに話す方法を学べた。授業では基本的な動詞を用いたよく使われるいろいろな表現や短縮する表現を集中的に学べた。プレゼン力が身についた。 授業が月～木で、金土日は休み。また授業が午前 9:00-11:30、午後 12:30-15:00 と早めに終わるため放課後もカフェに寄ったり大学内のジムで遊んだり、買い物をしたりすることができた。 良くなかった点は無かったです。
2) 課外プログラムについて
先着順で埋まってしまうものもあるので早めに申し込むのがよい。 バンクーバー旅行は修学旅行のような感じで楽しかったです。 ブッチャートガーデンは満開の時期でなかったのでもう期待したものではなかったですが、楽しめました。
3) 現地での生活に関すること
治安が良い。日本の北海道みたいな感じで広大な土地と自然があり住みやすい。ダウンタウンのあたりではホームレスの方が多い。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
クラスでは日本人留学生が最も多く、他に韓国人留学生がいた。現地学生との交流はほとんどないけれど、カフェテリアなどで見かけることはでき、話しかけて友達になった。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
英語を学びに留学しに来ていて、会話をしたいと伝えた。ピクトリアでおすすめの場所や学んでいること、趣味などを聞きInstagramを交換してみんなで写真を撮った。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
パブ(日本という居酒屋?)でビリヤードをやり、ウイング(手羽先?)を食べていたら、お会計をビリヤードをみていた男性がしてくれたこと。 バスを降りる際に Thank you! と言うのが当たり前になっていること。 バスに車椅子の人が乗ってきたら近くの人が席を畳んで、車椅子が入れるようにしていたこと。 お菓子などで個包装がほとんどないこと。 レストランなどでは残したものをケースに入れて持って帰るのが主流なこと。 歩行者にとっても優しいこと。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はこの留学プログラムに参加して本当に良かったと思っています。海外に行ったことも、親元を離れて暮らしたこともなく、1ヶ月という長い期間を母言語でない環境でやっていけるか不安な気持ちもありました。しかし、ホストファミリー、ルームメイト、クラスメイト、先生、いろんな人たちのおかげで楽しく過ごし、英語について、またカナダの文化について学ぶことができました。私は今回の留学を通して、英語では、発音の重要性、そして基礎的な単語の重要性を痛感しました。これからはただ単語量を増やしたりするのではなく、発音を強く意識して“使える”英語力を身につけようと、これからの英語学習の指針ができました。また、授業では go、take、など基礎的な単語を用いたいろいろな使い方を学びました。とても基礎的な単語を使っていて、しかも頻繁に使われるのに知らない表現が多く、見落としていたことに気づきました。何を言っているか単語単体ではわかるのに意味が取れないのはこのことも関わっていたと分析することもできました。現在フランス語も勉強中なので、このことをフランス語学習にも生かし基礎の徹底をして言語を身につけて行きたいです。

日本にいても英語は勉強できる中、英語圏に留学しに行く強みとして、授業内でも街中でも家でも英語が飛び交っている環境に身をおくことが挙げられると思います。カナダ英語は癖が強くなく、美しく日本人にとってとても聞き取りやすいと思います。英語に対し不安な面が多い学生にも、カナダを留学先に選ぶことを勧めたいです。留学に行く際は、費用以上に価値のあるものを経験しにいくのだという気持ちで臨むとより充実した留学生活になると思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	4万 円	ステイ先でご飯が出るため遊びに行くときのみ
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩、バスで約30 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3万 円	欲しい服を買った
雑費	3万 円	
その他	5万 円	例:お土産
合計	15万 円	

渡航準備について	
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか	
現金の用意方法:あらかじめカナダドルに換えておいた	
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート	
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください	
クレジットカードがあればほとんどのお店で支払いができるため困らない。また現金でも多くのお店で支払いができた。	
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。	
ドコモで1か月の海外プランの契約をしたのでカナダでも問題なく利用できた。	
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか	
日本のお土産を持って行ってよかった。	

現地情報	
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)	
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)	
特記事項:	
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
事前に調べていた。貴重品は小さいショルダーバッグに入れて常に持ち歩いていた。 実際に犯罪に巻き込まれることはなかった。	
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
家でも学校でも wi-fi につなげられるため通信環境は良かった。またどこを歩いても問題なくインターネットを利用できた。	

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のステイ先はとても良いご夫婦だった。しかしあまり干渉しない家庭だったので休日にどこかに買い物に行ったり出かけたりすることはなかった。また夜ご飯の時間が早いので放課後遊んで帰ると一緒にご飯を食べられないのでコミュニケーションをとる時間があまり多くなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

レベルに合わせてクラスで分かれ、多くの人と交流をすることができた。また週4のため週末は課題をしたり遊びに行ったりなど自由に過ごすことができた。しかし圧倒的に日本人が多かったため外国人と交流する機会があまりなかった。

2)課外プログラムについて

多くのプログラムがあった。しかしどれも高く、自分たちで行った方が安いので、申し込まなくてもよいと思う。私はホッケー観戦のみ申し込んだ。

3)現地での生活に関すること

大学からダウンタウンまで近く、大学終わりにカフェに行ったり買い物をするができる。また海も近いので自然に触れることもできる。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

留学生と現地学生とは学ぶキャンパスが異なるためあまり交流する機会は多くない。しかしジムに行ったりして現地学生と交流することもできる。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

私は他大学の現地で日本語を学んでいる生徒と交流する放課後プログラムに参加し、現地学生と交流した。そこでは自由に日本人と現地学生が日本語で会話し、交流していた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本に比べて夜就寝時間がとても早いと感じた。私の家庭では夜8時ごろには真っ暗になるし、家だけでなく店が閉まる時間も非常に早く、夜に遊ぶ場所はあまりないと思った。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

月曜日から木曜日まで毎日授業がありとても充実していた。授業中に様々なテーマでクラスの人と話し合うことで会話力が少し上がったと思う。簡単なテーマばかりではなく、少し難しいテーマについても話し合うことができた。また数日ごとにスピーチやプレゼンがあり、とても良い経験になった。学校だけではなくステイ先での会話、お店での注文など英語を主とした生活をするのでこれまでよりも英語に対する抵抗感がなくなったと思う。まだまだ英語を勉強しなければならないが、カナダで過ごした1か月で自分が少し成長できたと実感している。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ビクトリア大学
-----	---------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	
図書費・学用品費	600 円	ファイルとノートを購入しました。
携帯・インターネット費	10000 円	盗難補償を付けたら高額になっていました。
現地通学費	0 円	(研修先まで 40分)バス乗り放題の UMO カードが支給されます。
教養娯楽費	0 円	
被服費	14000 円	
雑費	20000 円	お土産
その他	円	例:
合計	70000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 2 万円をドル事前に両替してきました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード×2 ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的に支払いはすべてカードで、逆に現金は迷惑がられるときあります。しかし、一件キャッシュのみのお店があったので、持ち歩くことをお勧めします。二万円は消費することに「本当に」苦労したため、一万円ほどの両替をお勧めします。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
イエローモバイルのesimを使用しました。周りの多くがイエローモバイルか携帯会社の海外プランを使用している印象でした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
✧ ウエットティッシュはたくさん持って行ってよかったです。基本的にペーパータオルしかお店にはおいておらず、お店の机も汚かったりするので手をふく以外の用途でもなんと何とか便利です。 ✧ 花粉症の方はティッシュを多く持って行くことをお勧めします。鼻セレブや贅沢保湿ほどの高品質なティッシュはカナダには存在しません。 ✧ 胃薬、痛み止め、風邪薬、酔い止めは数日分持参した方が良いです。普段体調を崩さない私が胃もたれ、腹痛、発熱、船酔いを発症し何度も薬を服用しました。 ✧ カナダのだんご、ミンティアはおいしくないです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
✧ パスポートは基本的に持ち歩かない ✧ スマホストラップを使用していた。 ✧ ホームレスに話しかけられても無視する。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題はなかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 2人)
3)共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
私のホストファミリーは共働きで忙しい人でした。そのため、どこかに連れて行ってくれるということはありませんでしたが、本当に御飯がおいしくて、食事中の会話を大事にしてくれる方々でした。たまに一緒にゲームをしてくれたり、誕生日にはケーキでお祝いをしてもらい、本当に充実した一カ月でした。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良い意味で日本人しかいません。本気で英語を学びたい人にはお勧めしません。雰囲気を楽しみたい人、海外を体験してみたい人には最高のプログラムです。
2)課外プログラムについて
参加はすべて任意です。 ☆ Conversation club という現地のボランティアや留学生と会話できる場所があります。お茶やドーナツを楽しみながらボードゲームを楽しむことができます。参加をお勧めします。 ☆ バンクーバートリップというツアーがありますが、正直自分でプランを立てていく方がお得です。私は面倒くさがりなのでバスやホテルなどすべて用意されているこのツアーはすごく充実して感じました。
3)現地での生活に関すること
ホームレスに追いかけられました。全力疾走して逃げた先で新たな薬物中毒者に会ったときは死を覚悟しました。(その後は特に問題なかったです)スルースキルが大切です。 基本的にほとんどの人はすごく優しいです。バスの待ち時間で話しかけてくれたり、犬を触らせてくれたり本当に社交的です。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
現地学生とは Conversation club か大学のバス停でしか交流がなかった気がします。大学のパーカーを着ていたら美人なお姉さんに似合っていると褒めの言葉をいただきました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
犬の散歩をしている人を見かけたら「cute～」と話しかけるのが効果的です。犬を触らせてくれて、会話もできて最高です。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
バスでバナナを食べている少年を見たときは驚愕しましたが、ホストファミリーに話すとそれが普通だよと笑われました。次の日から私も朝ご飯はバスで食べていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

☆ 本当に楽しい一カ月間でした。ビクトリアはダウンタウン以外だったら日本より治安が良かったので盗難の心配はしすぎずに楽しんでください。 ☆ 心配すべきは物価です。外食だったら日本の約 2 倍は覚悟しましょう。ただ、値段は高いのですが、量も多いので満足感を得られると思います。さらに食べきれなかったものを持ち帰ることができるので小食の方々、安心して大丈夫です。また、大体のお店は別会計ができるため、割り勘などを考えずに済みます、日本より便利な社会です。 ☆ バスはたいてい遅延しています。私が出会った最高の遅延は「15 分」でした。また、遅延だけかと思いきや、早く着いた場合でも止まらずに通過します。そのためバスの出発時間についても通過していることが普通です。5 分前にはバス停についていることをお勧めします。
--